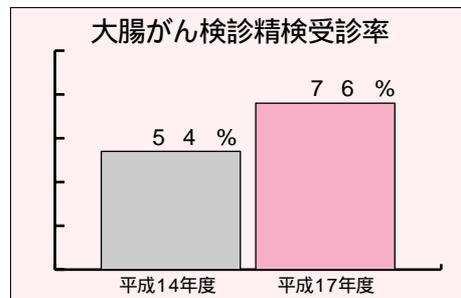
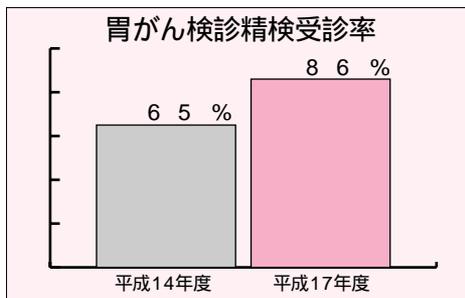


平成17年度 がん検診精密検査 受診状況まとまる



昨年春に行われた各種検診の精密検査結果がまとまりました。
第2次保健計画でも課題とされていた「精密検査になっても未受診のまま放置する方が多く見られる」の対策として、今年度は精密検査となった方には、家庭訪問をし、その時点でまだ精密検査を受診していない方に電話確認をさせていただきました。その結果、胃がん検診の精密検査の率は86%。大腸がん検診の精密検査率は76%と、受診率が向上しました。



平成17年度 胃がん検診精密検査者の内訳

受診者数(人)	精検対象数(人)	精検受診率
882	115	86%

精密検査の結果内訳(人)						
異常なし	粘膜下腫瘍(良性)	逆流性食道炎	胃炎	胃潰瘍	粘膜下腫瘍(精査)	胃ポリープ
35	1	2	42	6	1	4
精密検査の結果内訳(人)						
胃潰瘍癒痕	6ヵ月後再検	十二指腸潰瘍癒痕	入院中	その他	未受診	
3	1	1	1	2	16	

平成17年度 大腸がん検診精密検査者内訳

受診者数(人)	精検対象数(人)	精検受診率
651	89	76%

精密検査の結果内訳(人)							
異常なし	大腸がん	ポリープ	痔	経過観察	潰瘍性大腸炎	死亡	未受診
27	3	31	3	2	1	1	21

(平成18年1月18日現在)

検診結果を見てみると、今年度は早期大腸がんで3人の方が手術をされています。いまだに精密検査を受診していない方は、精密検査を受診した上で、平成18年度の検診にのぞんで下さい。

2月には、各種検診の意向調査が配られます。自分の健康を守るためにも「何の為の検診か」を考えながら、ぜひ「体の信号を見逃さない」検診を受けて下さい。